

日本教育学会第70回大会

2011年8月24日 17:00～19:00

☆日本教育学会2011ラウンドテーブル

「教師教育を担うのは誰か（1）」

# 教師教育を担うのは誰か？

## ～教師教育者の専門性を考える

司会者：矢野博之（大妻女子大学）

提案者：武田信子（武蔵大学）

中田正弘（帝京大学）

高旗浩志（岡山大学）

企画趣旨説明

教員研修における教師教育者

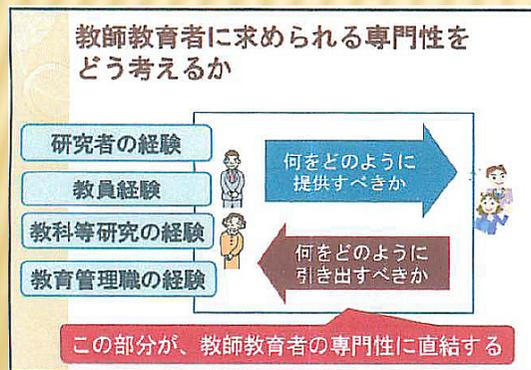
教員養成における教師教育者

※当日提案予定であった、山辺恵理子（東京大学院生/日本学術振興会特別研究員）  
「海外における教師教育者」は、事情により行われませんでした。



## 中田正弘(帝京大学) 「教員研修における教師教育者」

- 研修にあたっているのは誰か？ 指導主事・指導教員・退職校長etc.  
＝日本に「教師教育者」という概念がない。
- 専門性の内実が明らかになっていない実情
- 教師教育者を育てるという視点は、現状の教育行政にはない



⇒ 手がかりとしてのリフレクションへの着目

高籾浩志(岡山大学)

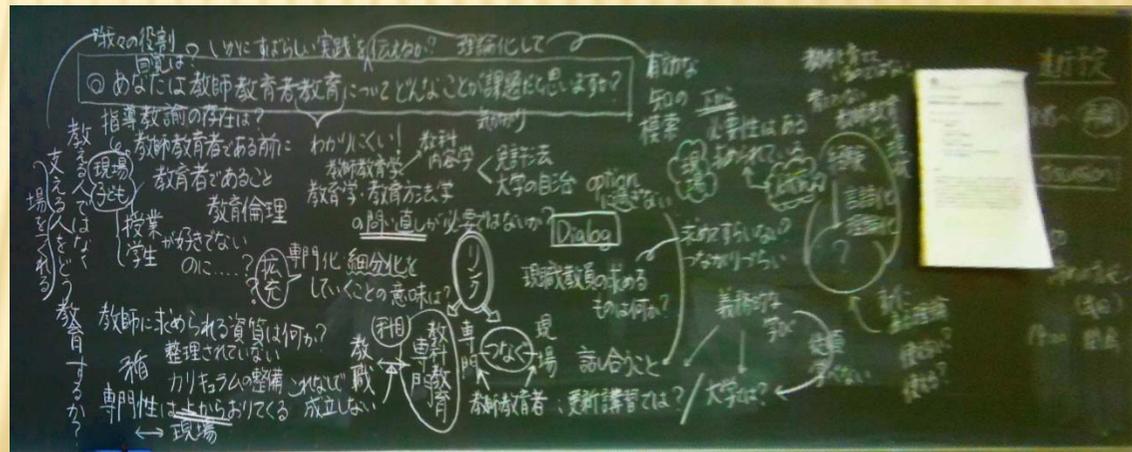
## 「教員養成における教師教育者」



- 教育実習系カリキュラムの系譜 “第3の段階”へ  
:完成実習から段階実習へ、さらに、養成教育と研修を連続体にとらえ大学・学校・教育行政が一体となって整備に取り組む段階
- 養成段階がすべきこと(できること)とすべきではないこと(できないこと)を曖昧にしていないか
- 大学進学率50%超時代の教員養成教育の課題とは

# 「討論」 (1時間程度)

趣旨説明と2つの提案をふまえ、  
参席者の“参加”を企図した自由討議



あなたは教師教育者教育について  
どんなことが課題だと思いますか？

概念がわからない

<教師教育者>  
\* 教育者の自覚はあるのか?  
\* 役割は何か  
\* 教育倫理はあるのか?  
\* 資質は?

教えるのではなく支える（場を作る）教師教育者をどう教育するか

<教える役割と場を創る役割>

すばらしい実践をいかにして理論化して伝えるか?

そもそもこれまでの教育学の問い直しが必要

あなたは教師教育者教育についてどんなことが課題だと思いますか?

経験の言語・理論化

有効な既有理論の適用

知の模索

免許法と大学の自治

教育学

機能していない教師教育

つなぐ対話

専門

現場

必要な専門性は?

求めているが得られていない

大学の学びは義務的オプション

カリキュラムの課題

遊離

従順に受けるが学べるものではない

育てていない教員養成  
受けさせられる更新講習

教員研修

求めてすらいない?

現職教員の求めるものは何か?